

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24 年 2 月 20 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270202189		
法人名	有限会社 いこい		
事業所名	グループホーム 彩葉(いろは)		
所在地	長崎県佐世保市棚方町424-272		
自己評価作成日	平成24年1月16日	評価結果市町受理日	平成24年3月1日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成24年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

少人数で共同生活を営みながら、その人がその人らしく生活して頂けるように支援いたします。また、住み慣れた環境の中で、地域の方々と交流の機会を持ち、地域の行事等に参加します。日々の生活の中では、買い物や調理、洗濯等生活に必要な家事をスタッフと一緒にいき、自立に向けての支援を致します。その他、趣味やレクリエーション、季節折々の行事を予定し、活気ある暮らしを提供いたします。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

法人代表者の『閉鎖的な施設にならない為に』との強い思いから、ホームと地域の住民とが一体となって夏祭り、杵を使った餅つき、年末の夜回り当番などの各種行事に積極的参加され、地域にとって存在感のある事業所である。現在も開かれたホームを目指しパソコンによるネット活用を模索中である。また、ベテランの職員が多く経験豊富で管理者のリーダーシップの下、利用者に対する気遣いに優れ信頼関係が構築されており、地域住民、利用者家族も含め一体感溢れる事業所である。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員が「毎日を楽しく元気よく地域の方々と共に喜びを」との理念に基づき実践に努めている	理念に基づき夏祭り等地域の各種行事に利用者と共に積極的に参加し、地域との交流を図る一方、毎月の職員会議で地域密着の重要性を話し合い理念の共有を図っている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日常的に散歩や買い物に出掛け地域の方々と挨拶を交わしたりホームの行事に参加して頂く等の機会を設けている	町内の各種行事（夏祭り、餅つき、年末の夜回り等）に職員と利用者は参加し交流を深めている。民生委員、町内会長との交流も盛んである。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実習生の受け入れを積極的に行っている。また地域の方々に行事に参加頂き交流を図る機会を設けている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	当所での活動等の報告を行い参加者の方々からの意見や要望を聞き、取り入れながらサービスの向上に活かしている	出席者夫々の立場で意見、要望を都度話し合い、提案を行い改善点等を協議し支援活動に役立てている。	各関係者とのより良い関係作り、交流を深める場として事業所側から積極的に問題提起を行う事で、より一層有意義な会議となる取組みに期待したい。
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	空室状況や認定更新の機会等に、当所での事情を相談、報告を行い連携に努めている	各種の報告書提出時等の機会に、担当者と情報交換を行い、連携を図っている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ご家族や地域の方々にも報告し日中の玄関の開錠に努めている。また利用者一人一人の状態を把握しその日の状況に応じながら安全面に配慮しかつ自由に生活して頂けるよう支援している。</p>	<p>玄関の施錠に関し家族、地域住民との気長い話し合いを通し、理解を得て開錠に至っている。職員全員が自主研修等を通し身体拘束の理解を深め、支援活動に取り組まれている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>ミーティング等でも確認しながら状況把握を行い、利用者主体のケアを心がけ虐待防止に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今のところ成年後見人を利用されている方はいないが今後も積極的に研修等に参加し職員全体で理解する事が必要</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>説明の際には時間を十分にとりご家族からも疑問等が無いかの確認を行い同意を得るようにしている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>書面や面会時等で日頃から情報交換を行い意見やご家族からの要望なども業務やケアにも取り入れサービスの向上に努めている</p>	<p>毎月の利用料の持参時等、面会の機会に家族との意見交換が行われている。本人とも担当者を通じ要望などを把握し運営に反映されている。家族アンケート、意見箱設置等、色々な試みも行われている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やユニット会議の場で職員も意見交換を行い要望なども取り入れ活動に反映するよう努めている</p>	<p>定期的に職員会議を開催し意見の反映に努めている。職員からも支援活動を通し、積極的な意見提案があり管理者との話し合いを経て、サービス向上に役立っている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>研修会の参加や資格取得に向けての支援を行っている。また職員の心身の健康を保つようにも努めている</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外で行われる研修に多くの職員が受講できる様に配慮しケアや技術の向上に努めている</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>協議会主催の研修会に定期的に参加し意見交換等を行っている。また、他事業所とのレクリエーション等にお互いに参加し交流を図り情報交換も行っている</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面談等で今までの生活状況や要望、相談等の話をゆっくりと傾聴する時間をもうけ、安心して生活ができるよりよい環境、関係づくりに努めている</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族へこれまでの経緯や生活状況または不安や要望等をお聞きし、事業所との信頼関係を築きながら本人への支援へ結びつけるよう努めている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族の思いや要望などを再三確認し、必要に応じてサービスの調整も行っている。また改善に向けた対応にも努めている</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>時間を共有し喜怒哀楽を共にすることで、お互いが協働し楽しく生活ができる環境づくりに努めている。また個人を尊重し個性を發揮しながら信頼関係を築けるよう努めている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人が安心して生活ができる環境を整える為に、ケアを行う中でご家族にも協力して頂いていることもあり、一緒に支え合う関係を築いている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>昔から行きつけの美容院の利用や家族との外出や外泊、友人の面会等一人一人の要望や生活習慣を尊重し、様々な関係を大切にできるよう努めている</p>	<p>初回面談時の情報、家族からの情報、支援活動を通し、把握した情報を活用し馴染みの場に出掛けたりと継続した支援が行われている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が見守る中で、個々の状態に合わせてフロアへの誘導、共同作業の提供等を行い利用者同士の関係を大事にする支援を行っている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後でもご家族の方より連絡を頂いたり気軽に遊びに来て頂けるようお願いをする等支援している</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者の言動から希望や意向をくみ取り思いに沿えるよう支援を行っている。また、表現が困難な方でもご家族に相談、協力を得て検討している</p>	<p>日常の会話の中で把握し、支援活動に役立てている。表現が困難な利用者については家族への相談、本人の表情、反応を見て対応されている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人やご家族から今までの生活歴をプライバシーに配慮しながらお尋ねし、職員一同で把握するよう努めている。また、個々を尊重する生活の支援に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>言動や心身の状態等を観察しその方がその人らしく生活出来る様支援している。また、その方が出来そうな事に着目し他にありそうな可能性を見出すよう努めている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族にも意向をお聞きし、主治医にも相談しながら利用者主体の暮らしを反映した介護計画作成に努めている。また職員もカンファレンス等で気づき等こまめに意見交換をしている</p>	<p>介護日誌、モニタリングに基づき、職員全員でカンファレンスを行い、問題点を共有し介護計画を作成している。家族の意向、主治医の意見も事前に聴取している。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別で食事、排泄、心身の状態等の記録を行い早めに変化に気づくように努めている。また、職員間でも情報の共有を活かしケアの見直しや実践に繋げるように努めている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の意向や状態にあわせ、外来リハビリの利用の送迎や往診、家族との外出や外泊などその時々出来る限りの支援を行っている</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近辺の訪問理容の利用や他事業所との交流を行っている。また、運営推進会議を通じ参加者の皆様と情報交換を行い共に安心して地域で暮らせる協力関係を築くよう努めている</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族が希望されるかかりつけ医への受診を支援し、必要に応じて往診や電話での相談、またご家族の協力があっての受診もを行っている。</p>	<p>希望によりかかりつけ医受診の利用者については家族からの報告、必要に応じ職員の受診同行により情報の共有を行っている。協力医療機関の定期的な往診も行われている。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃は介護職員により健康チェックを行い医師への相談により助言、対応を行っている。また、当関係施設の看護師に個々の情報、相談し適切な医療に繋げている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には付添、家族の了承を得て医療機関への情報提供を行い、安心して治療が出来る様支援している。また定期的に見舞いに行き情報交換を行いながら早期退院に向けての支援にも努めている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合は早い段階で本人やご家族の意向を尋ね、医師にも助言を頂きながら対応。また終末期では指針の説明と書面にも残した上で、医師との連携をとり安心して終末期を迎えられるよう支援に努めている</p>	<p>契約時に看取りの指針を説明している。現在は対象者はおられないが家族の要望、医療との連携により取組みの方針である。職員の体制作りも、研修会その他独自の方法により行われている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルにて職員の認識を高め、職員間での連携も取りながら適切な処置が出来る様努めている。夜間でも連絡網にて職員を確保し素早く対応ができる様努めている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な自主避難訓練や消防署員の協力を得ての訓練を行っている。また、地域の方やご家族にも参加の協力を行い見学されている</p>	<p>消防署の提案で介護度に応じた居室の変更も検討したが家族の意向もあり、実現には至っていない。カバー策として避難訓練の回数を増やし、迅速な対応に取り組んでいる。また、備蓄については系列企業間で必要分は確保している。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人一人の人格を尊重し、個人の性格や気持ちにあわせての声かけや対応を行い、プライバシーを損ねないよう支援している	個人のファイルは事務所にて管理されている。支援活動では場面場面によりプライバシー配慮した声掛けが行われている。又、利用者の呼び方についてもその人に合った尊厳を損ねない言葉掛けに注意されている。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	うまく自分の思いを表現できない方でも日々の会話や表情等から本人の希望や考えを引き出せる様心掛け、自己決定ができ、対応が出来るように努めている	
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれ個々の生活リズムを把握しその日の体調や気分に合わせて、その方がその方らしい生活ができる支援を行っている。また本人の希望や要望に沿った支援に努めている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意向で決められている方は、定期的な美容院の利用、化粧、自力での髭剃り等行われている。介助が必要な方には本人の希望を取り入れながらその人らしさを保つ支援に努めている	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に買い物に出かけ食材を選び食べたい物を購入したり、菜園で野菜を作り収穫する等も行い楽しみを作っている。配膳や下拵え、後片付けも行われ協力して作業も行われている	メニューは各ユニット独自に季節感等を考慮し、決定している。利用者が希望する献立は状況に応じ組み入れており、毎食分をデジタルカメラで保存し、事業所のグループ全体で視覚による管理に取組んでいる。また、食材は地元のスーパー等を利用している。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の食事摂取量や体調、好み等を把握し食事形態を工夫し提供している。また、季節の物を取り入れバランスを考えたメニュー、食べやすさや飲み込みやすさ等にも工夫し必ず記録に残している	

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人一人の状態に合わせ見守りや洗面所への誘導、歯磨きの介助を行っている。夕食後には義歯の方は外して頂き職員により洗浄剤を管理し洗浄している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>自力排泄が可能な方は見守りを行い、困難な方でも日中はトイレでの排泄が出来るように誘導し介助を行っている。また失敗された際にはプライバシーに配慮し他者に気づかれないような対応を心がけ支援を行っている</p>	<p>利用者の排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮し耳元で小声の声掛け誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。夜間のポータブル使用は、利用者本人の希望により使用している。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人一人の食事摂取量や排泄状態を観察、記録しパターンを把握。食事のメニューや水分摂取等にも工夫している。その他主治医に報告、相談を行い指示にて下剤の検討、使用もあっている</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴実施日が決まってはいるが、その日の体調や希望等に合わせて日を変更することもあり。入浴や清拭、入浴の時間なども本人の希望に沿うように実施。拒否が強い方は家族の協力もあっている</p>	<p>入浴拒否の利用者には家族の協力を得ながら、対応している。季節に応じ菖蒲湯、ゆず湯等楽しみながらの入浴が行われている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活リズムを大切にし、体調を見ながら日中の活動量を増やしたり休息の時間を取る等にも配慮。起床、就寝時間もそれぞれで夜間寝付けない方には温度の調整や飲み物を提供する等にも工夫し安眠につながる支援を行っている</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個々の薬のファイルがありいつでも職員が確認できるようにしている。薬の変更や服薬による主治医からの指示等は申し送りや伝達帳で周知徹底。服薬時は手渡し、必要時の介助を行い確認、記録を行っている</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>パズルや塗り絵を楽しまれる方、掃除や畑作業が好きな方、テレビの話題をいち早く誰かに話したい方等、個々の希望や意思を尊重し毎日の生活が楽しく活力あるものになるよう支援に努めている</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日頃の買い物で同行されたり、近所への散歩や本人が購入したい物があるときの買い物、季節ごとで企画したドライブや外出の支援も行っている。時には家族の協力もあり自由に外出が出来るように努めている</p>	<p>利用者の希望により近隣スーパー等へ買物、レンタルビデオショップ等に出掛けられている。職員同行による事業所周辺への散歩、ドライブ等の外出支援も行われている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族や本人の希望により当所にて管理しているが、本人の能力に合わせ少額を所持されている方もおられ、買い物で支払いの際には見守りを行っている。また、その都度家族にも報告している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙のやり取りはプライベートにも配慮しながら、本人の希望で自由に利用できるように支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>フロアには必ず職員がおり、声を掛けたり目視している事で安心感を与えるよう努めている。その他季節を感じる装飾を工夫したり温度や匂い、生活音等にも配慮し居心地良く過ごしていただけるような空間を作る事にも努めている</p>	<p>食堂を含む共用空間は掃除が行届き適所に長椅子、テレビ等配置され、利用者は思い思いの場所で寛いでおられる。職員と利用者の関係も良好で笑顔でのコミュニケーションが図られている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにはL字型のソファがあり職員の目も届きやすくゆっくりと座ってテレビを観たり談笑等し過ごされる方が多い。また、気の合う方はそれぞれの居室を訪問したり、外のベンチで過ごされる等思い思いにくつろげる工夫も行っている</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使い慣れた家具や衣類、日用品等を持ち込み使用して頂いている。また、家族とも相談し本人が安全に生活しやすい環境を作る為に、家具の配置や装飾にも工夫し、自分らしく過ごして頂けるよう支援を行っている	利用者の使い慣れた家具、備品が置かれた居室は適度な広さがあり落ち着いて寛げる空間となっている。全面に手すりが設置してあり安全面の配慮もなされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや入浴、自室等に名前等を標示し混乱を防ぐ工夫を行っている。ま利用者の状態に合わせて食卓の席替えを行ったり安全に歩行や移動が出来るように環境の整備の支援も行っている		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「毎日楽しく、元気よく、地域の方と共に喜びを」の理念の下、日々の入居者との関わりの中で職員全員が確認しながら支援に努めている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には積極的に参加し、またホームの行事は案内状や掲示板を利用し、地域の方々とふれあう機会を持っている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々に認知症の状態であっても住み慣れた地域で生活を営む事の大切さを理解していただけるよう交流や行事参加を行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしている	事業所内での取組みや行事の報告を行うとともに、地域の方やご家族からのご意見をお聞きし、積極的に取り入れながらサービスの向上に取り組んでいる。		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通じて市の担当者や生活福祉課等と連携し、ホームの現状等やサービスにおける課題を協議しながら協同関係を作っている。		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>県主催の身体拘束研修会に参加し職員研修を行い、ご家族の協力、職員の意識や配慮で工夫を行い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>協議会主催の研修会に参加し、職員の意識や理解を高め、入居者主体の支援の取り組みを行っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>ご家族の状況に応じて地域福祉権利擁護制度利用の相談を行い、必要な手続きや利用を行っている。また、職員も制度内容を理解し、今後も支援に繋げていけるよう努めている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約前に読み合わせの説明時間を十分取っており、内容に疑問点が無いか確認しながら同意を得ている。同時に事業所のケア方針や看取りに関する方針の説明も行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族の来訪時には出来るだけ時間を作り、意見や要望をお聞きして業務の改善や介護サービスの向上に努めている。またご家族の意見、要望は記録し、職員間で共有している。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議やユニット会議を行い、意見交換を行い意見を運営に反映させている。また、日常的な報告などもすぐに行えるように連絡体制を整えている。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個々の職員が向上心や自己目標を持って働けるように研修会の参加や資格取得の支援を行っている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外の研修を受ける機会を確保し、働きながら技術や知識習得が出来る様に工夫している。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>協議会等の勉強会や親睦会で交流や連携の機会を持ち、意見交換等を行っている。また他事業所とレクリエーションを行い、交流や意見交換を行っている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前には事前訪問やホーム見学に来て頂き、心身の状態や本人の要望、不安等を出来るだけ細かく情報収集しながら関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居前や入居時に今までの暮らしぶりについてお聞きし、ご家族のご苦労や思いを理解するよう努め、また不安や要望もお聞きしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族の置かれている状況を把握し、要望や意向をお聞きし必要に応じて他サービス利用の調整を行っている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個々に合った家事や趣味など興味が持てるような声掛けや本人の得意な事が出来る様にし、活躍の場面を作っている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族より得意な事、お好きな事をお聞きし、家事、趣味等得意な事を継続して行えるような環境作りをしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ご家族や友人が気軽に訪問出来る様な環境づくりを行っている。また、電話、手紙等希望に応じて利用していただいている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士、お互いの体調を心配する場面や、お世話をされる場面があり、日常生活の中で助け合う場面が見られる。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後もこれまでの暮らしが継続出来る様支援している。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常生活の中で個別にコミュニケーションを取りながら希望や思いを大切にし、思いをうまく表現出来ない方でも本人の視点に立って希望を汲み取る様に努めている。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人やご家族からこれまでの生活歴や好き嫌い等をお聞きし、入居後もこれまでの暮らしぶりに大きな変化が無い様に努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活リズムを把握すると共に、日常生活の中で本人の持っている力、出来る事に着目し、本人の持っている能力を見出す様努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族の意向をお聞きし、主治医と相談も行いながら定期的なモニタリング、カンファレンスを職員全員で行い、介護計画に反映している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルにて身体状況や日常生活での出来事、職員の対応等を記録し、日々の支援や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人のニーズに沿って通院、往診、訪問美容、ご家族との外出など、その時々に必要な支援を出来る限り行っている。</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人と地域との様々な接点を見出し、必要に応じてボランティアや他施設との交流を行っている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、ご家族が希望するかかりつけ医への受診を支援し、必要に応じて電話での相談や、往診等、かかりつけ医との連携に努めている。</p>		

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>同法人の看護職員が定期的に訪問し、健康管理を行っている。また、体調面での気づきや心配事はそのままにせず早期解決のために相談を行っている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはご家族の了承を得て本人に関する情報提供を行い、入院中も面会に行く等し医療機関とも連絡を取りながら早期退院に向けての支援を行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に重度化した場合や終末期の指針についての説明を行っている。また重度化した場合、早い段階で本人、ご家族の意向を踏まえて医師、職員と連携を取りながら支援に取り組んでいる。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時対応マニュアルや職員連絡網で手順の確認や職員間の連携が取れる様ミーティングを行っている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>自主訓練を増やすと共に消防署の協力により定期的な避難訓練、避難経路の確認等を行っている。また、地域の方にも訓練への参加をお願いしている。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	どんな場面でも一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねないような声掛けや対応を行っている。また介護記録等の管理は職員が行っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の意志や思いがうまく表せない入居者でも日常生活の会話や表情から本人の希望や思いを出来るだけ引き出せる対応を行い自己決定出来る様取り組んでいる。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の生活リズムや体調面に配慮しながら本人の希望する外出や家事が出来る様支援を行い、その人らしく生活出来る様取り組んでいる。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の希望をお聞きし、服装や髪形を選んでいただいている。支援が必要な方はその日の体調や気温を考慮し職員と一緒に選んでいる。希望者には訪問理容や理容室への支援を行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と一緒に買い物に出かけたり、調理や後片付けを行っている。また本人の希望に添った食事、おやつや飲み物等を楽しめる様努めている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体調を把握し、食事、水分摂取量、体重を記録している。食事形態もそれぞれに工夫をしている。食が進まない場合は食事時間を変えたり嗜好品の提供を行い工夫している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの声掛けを行い、個々に必要な支援を行っている。また必要な方については訪問歯科より口腔マッサージ、口腔清掃の指導をいただき職員が日々の支援に繋げている。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>チェック表を利用し排泄パターンを把握している。日中と夜間、失禁量に応じて使用するパットを変えたり誘導時間も工夫している。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>一人一人の食事量や水分量、排泄パターンを把握し、日中活動量や水分量を増やし、食物繊維や乳製品等、食事面も工夫している。また、排泄時間を記録しトイレ誘導も行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>バイタルチェック後、本人の希望に応じて入浴していただいている。入浴が嫌な方は、衣類交換や清拭、足浴等入浴につながるような支援を行っている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の生活リズムを大切にしその日の体調に合わせて日中活動量を増やしたり、日中の休息も取り入れている。就寝前にはお茶の提供をする等工夫している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人の薬についてファイルを作成し、職員がいつでも見れるようにしている。処方の変更があった場合は職員伝達ノートにて周知徹底し、状態観察に努め、記録している。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>趣味や特技が活かせるように個別に家事や外出、趣味等の支援を行っている。日常生活の中で役割を持っていただく等その人が持っている力を引き出し、喜びや楽しみにつながる様支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望に添えるよう天候や体調に考慮しながら買い物、散歩、ドライブに出かけている。外出前は駐車場やトイレ等の情報収集を行っている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人やご家族の意向でお金を預かったり、本人の能力に合わせて自分でお金を管理されている。買い物や外出時に本人が支払い出来る様に支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じて電話や手紙のやり取りなど出来る様にしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が作成したパズルや季節に合った花などを飾り季節感や生活感を取り入れ心地よく生活出来る様工夫している。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファやテーブルがあり場面に依じて好きな場所で過ごせるよう工夫している。また、玄関前や庭にベンチを置き外でもくつろげる様工夫している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していた家具や寝具、家族の写真等持ち込んでいただき安心して生活出来る様配慮している。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室、トイレ、浴室等はわかりやすいように工夫している。また入居者の心身状態に合わせて住環境が適しているかの見直しを行い、安全確保と自立に向けての工夫をしている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない